

2024年度 清水学院高等専修学校
自己点検及び学校関係者評価委員会 報告書

評価：適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

重点目標

- ① 健全な青少年を育成する。
- ② 一人ひとりを大切にする教育体制を構築する。
- ③ 入学を志願する生徒数を増加させる。

1. 教育理念・目標

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	3		3	・近年の情勢を見ていると、多様性を尊重する重要さと、社会性を身につけさせることのバランスを保つことが困難になっているように感じられる。個を重視した時にバラバラにならないための基盤作りも、今後の学校教育に必要なものではないかと考える。
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4		4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	3		3	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	3	指導の方針や在り方、方法など、多様性への対応について、対応の必要性も含めて学校の方針を考える必要がある。	3	

2. 教育活動

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	3		3	・ 一部の専門的分野の検定試験の学習成果が担当者の力量による影響が大きいことについて、教材や学習方法を”次に残す”という視点で準備する意識の必要性が感じられる。
定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4		4	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	2	連携する高等学校とも調整し、生徒が学習するうえで適切な難易度の教材を再選定する必要がある。	2	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	3		3	
資格試験の合格率は	3	不合格が続く生徒には、中期的な個別計画を実施することが必要。	3	
資格試験不合格者の対策は	3	評価基準など要所の整理をすることで、適切な評価方法を再度検討する。	3	
評価は適切な方法で行われているか	3		3	
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか	3		3	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4		4	

3. 生徒受入

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3	2025年度よりホームページをリニューアル。学校の実態や最新情報、デジタルパンフレットの掲載など、これまでよりも充実した内容で構成。	3	<p>・子どもたちが進学先を選ぶ基準や考え方が変化しているのではないか。学力の輪切りではなく、やりたいことをやれる場所であるかが選択基準となってきた。</p>
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	3		3	
募集要項の内容は適切か	4		4	
学校見学会の時期、内容は適切か	3	夏に多くの見学者に参加してもらうことを目的とした事前準備やアプローチをより熟考していく必要はある。	3	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	3		3	
志願者状況、定員充足率はどうか	3	開校当初の環境に合わせた募集定員となっているため、定員数の再考も必要と考える。	3	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	3	登校に向けた継続的なメンタルサポートが必要な生徒が増えてきている。まず登校が習慣化するまでの期間をより丁寧に対応する必要性を感じる。	3	

4. 教職員組織

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	4		4	・とくになし。
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3	特に専門的な分野での非常勤講師を採用し、専任教員の科目時間数を軽減することで他業務との両立がしやすい環境作りが肝要。	3	
教職員の業務分掌は明確になっているか	3		3	
教職員の能力、業務内容の評価を定期的に行っているか	3		3	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	3		3	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	教員の充足を進めるが、教員のなり手が減少する現状に対応するべく、2025年度からは新たな運営体制や施設環境の構築を進めている。	3	

5. 施設・設備等

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4		4	<p>・自己評価として「3」が多いことに対する理由、「4」をつけることができないと考えている理由はないか？</p> <p>→（学校より回答） 現状小規模な環境の中で、設備投資や整理をしながら運営をしている。しかし、より生徒の活動の幅を広げると考えると、小規模ながらも今以上に効果的な施設の使い方があるのではないかと考えている。そのため、現状では最高評価をつけられる状態にないと考えた。</p>
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4		4	
実習設備は整備されているか	3		3	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	3	2026年度を目指して機材の入れ替えができるように準備を進める。	3	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	3		3	
保健室は適切に整備されているか	3		3	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	3	動作不備が単に劣化の問題なのか、保管環境による要因についても視野に入れながら環境を整える必要がある。	3	
職員室の管理は適切に行われているか	3		3	
事務室の管理は適切に行われているか	3		3	

6. 生徒生活支援

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	4		4	<ul style="list-style-type: none"> 不法侵入を想定した整備については、防災訓練よりも意識が弱くなっているのではないか。別館 PC 室への対策など、新任教員も対応できる準備が整っているようにしてもらいたい。
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	3	行事の規模により、事後反省の方法は変えながら、規模の小さい行事についても改善に向けた事後反省の機会を設けていく。	3	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3		3	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	3		3	

7. 管理・運営

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4		4	
個人情報保護法を遵守しているか	4		4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4		4	

以上、本校の教育研究活動等の学校関係者委員会の意見として報告します。